



© Santiago Engelhardt

2020年に向けた 持続可能な調達

国際フェアトレード認証

特定非営利活動法人フェアトレード・ラベル・ジャパン
事務局長 中島佳織

2016年6月10日



FAIRTRADE



国際フェアトレード認証ラベル

世界**74か国**、**165万人以上**の生産者・労働者が参加
世界**125カ国以上**で**32,000以上**のフェアトレード認証製品が流通
特に欧州各国では**90%以上**の消費者が認知

ISO17065 (製品認証機関の認定基準)
に則した監査・認証制度



生産者
組合



消費者



原材料の生産～輸出入～製造～
完成品になるまでの
サプライチェーンを監査・認証

主な認証対象原材料・製品

その他、砂糖、大豆、はちみつ、ナッツ類、ゴマなど原材料ベースで300種類以上



コーヒー



カカオ



コットン



茶葉



香辛料



バラ



バナナ



スポーツボール

公共調達におけるフェアトレード

世界**27カ国**、**1,802の自治体**がフェアトレードタウン認証(2016.5.18時点)
ロンドン、パリ、ローマ、ブリュッセル、アムステルダム、ストックホルム など首都も

- ・**熊本市** 2011年6月 アジア・日本初のフェアトレードタウン認定
- ・**名古屋市** 2015年9月19日 日本第2号のフェアトレードタウン認定
- ・**逗子市** 2016年4月15日 平井竜一市長フェアトレードタウン宣言
- ・**韓国・ソウル** 市長自らがフェアトレードシティを目指し積極的に推進



2015年9月19日 名古屋市の「フェアトレードタウン」認定式。写真中央は河村たかし名古屋市長
写真出所: http://www.huffingtonpost.jp/hiroyuki-abe/fairtrade-town-nagoya_b_8164462.html

ユーロ紙幣にフェアトレード認証コットン使用（オランダ 2007年～）

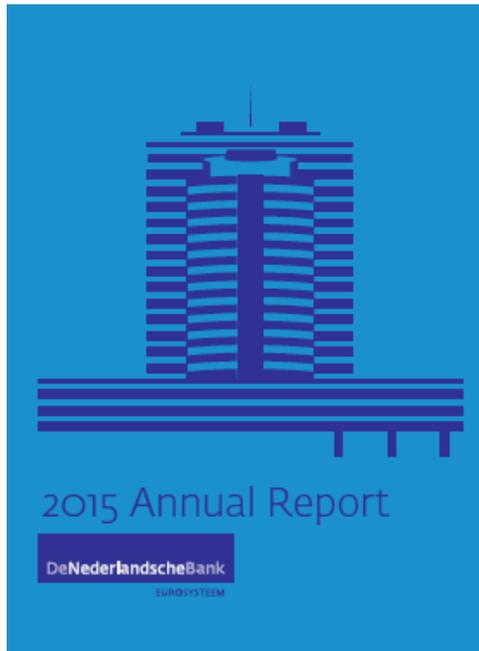
オランダ銀行

DeNederlandscheBank

EUROSYSTEEM

「持続可能な調達方針(Sustainable Procurement)」

ユーロ紙幣にフェアトレード認証コットンを使用
アフリカとインドの小規模農家から調達



サステナブルコットン使用率40%達成(2015年)
遅くとも2019年までに100%を目指す

コットン/繊維のサプライチェーンが
より持続可能なものになることを目指す



FAIRTRADE
JAPAN

制服業界でもフェアトレード認証コットン採用の動き



全スタッフユニフォームにフェアトレード認証
コットン使用(2016年3月14日発表)

2015年、フェアトレード認証コットンを使った
最初の制服10万着を発注
2015年11月～スタッフへの配給スタート



オーストラリア南東、ニューサウスウェールズ州
Hazelbrook Public School

同国内で初めて、フェアトレード認証コットン &
リサイクルポリエステルを使用した制服を採用

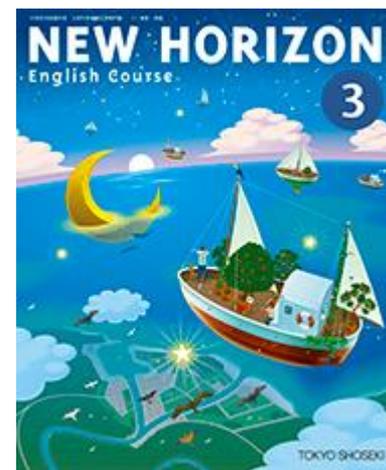


日本の教育現場でも

■ 教科書にフェアトレード掲載

社会、英語、家庭科など

高校入試、大学入試センター試験に出題も



■ 文部科学省「スーパーグローバルハイスクール」

国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成を目的

複数の学校が「フェアトレード」を学習・研究テーマに

(H26～28年度: SGH指定校123校／SGHアソシエイト56校)

■ 学内での調達や販売（学校給食、オリジナル商品化など）

名古屋市の小学校給食12万食にフェアトレード認証食材(白ごま)

生徒×企業 共同企画で学校オリジナルのフェアトレード商品化

名古屋市 小学校給食にフェアトレード認証食材採用

名古屋市教育委員会は、5月のフェアトレード月間に合わせ、市内の小学校給食でフェアトレード認証白ごまを使った「ちりめんじゃこのつくだ煮」を提供。

給食だけでなく家庭での使用にも繋げようと、ユニー株式会社が展開する名古屋市内の総合スーパー、アピタ・ピアゴも協力し、給食に使用されたフェアトレード認証ごまを店頭で販売。



白ごまは、明治19年創業のごまの総合メーカー、九鬼産業株式会社(本社、三重県四日市市)が、ニカラグア共和国のフェアトレード認証を取得した生産者組合DelCampoからフェアトレードで取引。



調達基準にフェアトレードを採用
全開催地域で、フェアトレード認証のコーヒーや紅茶、
チョコレート、砂糖、バナナ、ワイン、オレンジを提供

オリンピック開催中の6週間での推計提供数量

- ・フェアトレードバナナ 1000万本
- ・フェアトレード紅茶 750万杯
- ・フェアトレードコーヒー 1400万杯
- ・フェアトレードワイン 220万本



2020年に向けた提案

■ 世界に通用する認証基準の採用を

- ・ 「公正な」取引、「適正な」労働環境 …… とかく曖昧になりがち
- ・ 生産者への「適正」価格、「適正な」労働環境 …… 明確な基準化が重要
- ・ 児童労働・強制労働の排除 …… 第三者の監査が有効

原料の生産現場～最終製品化までのサプライチェーンで監査・認証が重要

■ 東京都がリードして公共調達等にフェアトレードを

- ・ 例えば東京マラソンのTシャツや配布バナナをフェアトレード認証製品に
- ・ 国際会議での飲料・食事にフェアトレード認証製品を
- ・ 海外代表チームの合宿地やホテル等宿泊施設にフェアトレード認証製品を

シンボリックな催事を通して、ビジネスや国民の意識啓発を



2020年に向けた提案

■ 特に途上国産品の代表5品目にフェアトレードを

- ・ コーヒー … 一次産品としては石油に次ぐ取引量。生産者はいまだ貧困
- ・ カカオ … 特に西アフリカ諸国での児童労働が深刻
- ・ コットン … 貧困、児童労働、農薬による健康被害・環境破壊が深刻
- ・ バナナ … 欧州ではフェアトレードが主流（スイス市場シェア54%、UK市場シェア35%）



コーヒー



カカオ
(チョコレート)



コットン



バナナ



紅茶

海外でも浸透度の高い代表的な産品は特にフェアトレードを

その他、2012年ロンドン大会では十分な配慮が実現しなかったもの

- ・ 選手・スタッフユニフォーム：原料コットンへの人権配慮、製造工程での劣悪な労働環境
- ・ サッカーボール：製造現場での児童労働の排除・劣悪な労働環境

